

令和6年度事業報告書

1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

(1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究

①関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模などの調査を実施した。

(2) スタジオ使用の実態調査及び研究

①9月、音楽録音事業に関する調査報告書を編纂するため、法人正会員社及び準会員社の売上規模、稼働状況等に関する「第23回音楽スタジオ事業経営実態調査」を実施した。

調査内容：売上の推移、稼働時間と時間単価の推移、スタジオ料金／エンジニア料金、スタジオ使用料の見直し、クライアントのスタジオ使用に関する内容、イマーシブ・オーディオのミックス、ブッキング業務の現状、エンジニアの雇用、新規エンジニア採用および人材育成、フリーランスエンジニアのマネージメントについて、レコーディングスタジオ事業の問題点、スタジオ運営および営業に関して、社内の労務管理を含め対応に苦慮する問題点

(3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究

①3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別の正社員数、契約社員数、アルバイト数、マネージメント契約エンジニア数及びインターンシップ受け入れ数について、雇用内容を把握するため、雇用形態調査を実施した。

2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

(1) スタジオ運営に関する研修会等の開催

①11月28日（木）、主にスタジオ経営者及びスタジオマネージャーを対象として、スタジオ運営の実態に関する問題点を把握し、対応策を検討することを目的とする「第20回スタジオ意見交換会」を、東放学園音響専門学校 渋谷校舎 2F 2A3教室での対面とオンラインを併用して開催し、スタジオ運営に関する意見交換を行った。

司会進行：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ

参加者：法人正会員10社16名、個人会員1名、会員外法人1名 計18名

(2) スタジオ施設に関する見学会の開催

①賛助会員を対象とし、スタジオ設立からの沿革、音響設計に関する基本コンセプト等を把握することを目的とする「スタジオ見学会」を、会員スタジオの協力により実施した。

第23回： 6月27日（木）山麓丸スタジオ 参加者：12社29名

第24回： 8月26日（月）角川大映スタジオ 参加者：9社17名

第25回： 2月22日（土）ヒューマックスエンタテインメント 参加者：10社14名

（※第25回はAES日本支部との共催）

3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

(1) 5月7日（火）、音楽録音事業に関する新規技術情報共有や業界の技術向上を図るため、技術委員会と涉外委員会共催で意見交換会を、東放学園音響専門学校 渋谷校舎2F 2A3教室での対面とオンラインを併用して開催した。

(2) 賛助委員会と連携し、JAPRS加盟に向けて大学との情報交換会を行う。

(3) エンジニアの技術向上およびスタジオビジネスの強化と新しいビジネスモデルの提案を図る。

①8月8日（木）、AES日本支部+Dolby Japan 株式会社+JAPRS共催により、「LIVE FILMにおけるDolby Atmos 音響制作」に関する共同勉強会を開催した。

②11月29日（金）、Dolby Atmos 納品仕様に関する情報共有を図るために、ユニバーサル ミュージック Dolby Atmos 納品仕様説明会&Augusta Studio 試聴会を開催した。

③3月22日（土）、制作数が増え続けているアナログ盤の品質向上に向け、パネリストに4名のカッティングエンジニアを迎えた対談方式にて、JAPRS 技術セミナー「アナログ盤制作を始めるためのノウハウ勉強会」を ZOOM ウェビナーにて開催、アーカイブ動画の公開を行った。

（4）エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会

①11月13日（水）より15日（金）まで、幕張メッセに於いて開催された「Inter BEE 2024」については、11月14日（木）、JAPRS 賛助会員からの出展14社を対象とし、正会員及び準会員エンジニアと賛助会員各社の製品情報、技術情報等の把握及び交流を目的とした「Inter BEE 2024 賛助会員社ブースツアー」を実施した。

内 容：<出展社>

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ・オタリテック(株) | ・(株)オーディオテクニカ |
| ・(有) グルーヴ | ・(株)静科 |
| ・シェア・ジャパン(株) | ・(株)スタジオイクイメント |
| ・ゼンハイザージャパン(株) | ・ソリッド・ステート・ロジックジャパン(株) |
| ・タックシステム(株) | ・日本音響エンジニアリング(株) |
| ・ヒビノインターラウンド(株) | ・ミックスウェーブ(株) |
| ・(株)メディア・インテグレーション | ・ユーズドネット(株) |

参加者：法人正会員4社5名、個人正会員1名、賛助会員2社2名、JAREC2名 計10名

（5）資格認定制度に基づく第23回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験の実施

①4月20日（土）、「2024年度版問題集／技術資料集」（B5判193頁）を発行した。

②4月、受験申請書、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。

③5月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。

④6月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。

⑤7月7日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、札幌、仙台、郡山、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の8地区24ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。

受験申請者数：683名、受験者数：628名

⑥8月、受験者に対して認定証カード及び成績証明書を作成し、交付した。

⑦3月、令和7年7月に実施する「第24回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験」を控え、告知ポスター及び受験案内パンフレット並びに団体受験マニュアルを作成し、団体受験候補先及び会員スタジオに配布した。

（6）資格認定制度に基づく第21回JAPRS認定Pro Tools技術認定試験の実施

①4月、資格認定制度委員会内に「2024年度版問題集／技術資料集」作成小委員会を組織し、問題集の作成を開始した。

②5月、9月8日（日）に実施する認定試験を控え、告知ポスター、受験案内パンフレット、受験申請書、団体受験マニュアル、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。

③6月20日（木）、初級編、中級編及び技術資料集に区分された「2024年度版問題集／技術資料集」（B5判253頁）を発行した。

- ④7月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
- ⑤8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成し、実施に向けて対応した。
- ⑥9月8日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、札幌、仙台、新潟、小山、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、博多の10地区25ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。
- 受験申請者数：792名、受験者数：681名

- ⑦10月、受験者に対して成績証明書、認定証カードを作成し、交付した。

（7）専門学校の学生を対象とした研修会等の実施

- ①5月25日（土）、専門学校学生を対象とし、JAPRS法人正会員、準会員、賛助会員企業の出展による就職支援説明会「JAPRS企業説明会」を東放学園音響専門学校・清水橋校舎において実施した。
- 参加学校：20校 150名
- 参加企業：(株)青葉台スタジオ、(株)EMP、(株)キング関口台スタジオ、(株)サウンドインスタジオ、(株)サウンド・シティ、ビクターエンタテインメント(株)、日本コロムビア(株)/(株)フェイス、(株)ミキサーズラボ、ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)、(株)メディア・インテグレーション 以上10社
- ②エンジニア人材育成プログラムとして、正会員スタジオ2社および賛助会員専門学校1校の協力により、エンジニアを目指す専門学校生を対象に、レコーディングスタジオに於ける現役エンジニアによる「2024年レコーディングセミナー～スタジオワーク編～」を東京、名古屋、大阪地区に於いて実施した。

【実施内容】

- ①セミナー使用スタジオについての説明
- ②音源データの取り込みについて（取扱い&確認事項など）
- ③ボーカルダビングのセッティングについて
- ④ボーカルダビングを想定したセッティングおよび歌詞等の準備について
 - ・譜面を追って進行の確認&カウンター書き
 - ・ボーカルトラックを聴きながら歌詞カードへのカウンター記入
 - ・ボーカルエディット作業について実演および受講者体験
- ⑤アシスタントへの質問コーナー
- ⑥ダビング作業の実践（アコースティックギター）
 - ・マイキングやアウトボードによるサウンドマイキング
 - ・演奏者とのやり取り
- ⑦エンジニアからの受講者皆様への総括～Q&A

【レコーディングセミナー～スタジオワーク編～①】

日 程：7月13日（土）
大阪地区会場：スタジオグループ Ast
エンジニア：中山 佳敬氏 ビクタースタジオ
アシスタントエンジニア：金子 拓人 氏 スタジオグループ
参 加 者：3校 11名

【レコーディングセミナー～スタジオワーク編～②】

日 程：7月8日（土）
名古屋地区会場：専門学校名古屋ビジュアルアーツ 5号館1F Pixy Studio
エンジニア：中山 佳敬氏 ビクタースタジオ

アシスタントエンジニア：藤田 成哉 氏 ビクタースタジオ
参 加 者：1校 13名
[レコーディングセミナー～スタジオワーク編～ ③]
日 程：7月28日（日）
東京地区会場：ビクタースタジオ 302st
エンジニア：中山 佳敬氏 ビクタースタジオ
アシスタントエンジニア：藤田 成哉 氏 ビクタースタジオ
参 加 者：9校 40名

③11月23日（土）、専門学校学生を対象とした「2024年度JAPRS新人エンジニア育成研修会」を、ZOOMウェビナーにて実施した。

内 容：I部 (1)「スペシャリストを目指して」

講師：高橋 邦明氏 JAPRS会長

(2)「レコーディング、アシスタントエンジニアの仕事について」

および「レコーディングエンジニアとミックス師の違い」

講師：山田 幹朗氏 ビクターエンタテインメント(株)

ビクタースタジオ エンジニアグループ/FLAIR

ゼネラルマネージャー

(3)「レコーディングスタジオでの働き方の変化、

そして今スタジオではどんな人材を求めているか？」

講師：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ 代表取締役社長

II部 (1)「現役エンジニアQ&Aコーナー」

司会：阿部 純也氏 東放学園音響専門学校

参加エンジニア：

小林 紗彩氏 サウンド・シティ / 専門学校東京ビジュアルアーツ 卒

田尾 佳奈子氏 キング閣口台スタジオ / 専門学校東京ビジュアルアーツ 卒

横山 広海氏 ビクタースタジオ / 音響芸術専門学校 卒

(2)「JAPRSからのインフォメーション」

担当：内藤 重利 JAPRS事務局／専門学校委員長

※YouTubeによるアーカイブ配信実施

(8) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への支援・協力

①文部科学省より平成26年4月から従来の専修学校（専門課程）の上位に位置する新たな枠組みとして「職業実践専門課程」を新設することが内示されたが、JAPRS賛助会員に加盟する専門学校が、この専門課程を申請するに当たり、認定基準となる教育課程（カリキュラム）の編成、演習、実習等の内容、教員研修、学校評価等に対するアドバイザーとして、当協会に対する教育課程編成委員就任の要請があり、今期は、以下の各氏が就任し、専門学校に協力した。

仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校 冬木 真吾氏 日本コロムビア(株)

専門学校デジタルアーツ仙台 // //

専門学校名古屋ビジュアルアーツ 深田 晃氏 個人正会員

専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー 高橋 邦明 (株)キング閣口台スタジオ

// 内藤 重利 JAPRS事務局

専門学校ESPエンタテインメント東京 内藤 重利 JAPRS事務局

4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

(1) 音楽録音に伴う音楽コンテンツデータ構築の標準化

①関連団体である一般社団法人MPNとの業務提携契約により、平成24年6月に開始したミュージシャンのレコーディングデータ収集を目的とする、会員スタジオに於けるMPN BOXの設置を継続した。

(2) スタジオ運営に関する規程・フォーマットの標準化

①スタジオ使用ルールを周知するためのスタジオ使用規程モデル告知ポスターの会員スタジオ内での掲示及びスタジオ使用者への周知活動推進を継続して実施した。
②スタジオ運営に関する問題点の情報共有を図るため、オンラインを併用して情報交換会を実施した。

(3) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化

①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化活動を推進した。

(4) 音響設計に関する基礎知識の標準化

①平成18年1月に発行したJAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」10刷を令和6年4月に発行し頒布した。

(5) DVD-Videoの音声規格に関する標準化

①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」を継続して頒布した。

5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

(1) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催

①関連団体である一般社団法人MPN及び東京音楽事業者連盟と共に、三団体が共有する音楽制作に関連する課題解消を目的としたレコーディング三者協議会(ref)に於ける月例の連絡会議に参画した。
②一般社団法人日本ポストプロダクション協会(JPPA)が主催し、編集技術者の質的向上を目的として制定し、映像・音響作品及び編集技術者を推奨し表彰する「JPPA AWARDS 2024」を後援した。
③NPO法人ミュージックソムリエ協会が主催する、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞「第17回CD ショップ大賞 2025」を後援した。
④一般社団法人日本オーディオ協会が主催し開催する「OTOTEN 2024」を後援、またJAPRSとして会員2社に協力をいただき下記の通り3回のセミナーを実施した。

○(株)ミキサーズラボ 「日本プロ音楽録音賞 30年の歩み

～その時代に於ける音創りの変遷／受賞作品試聴～

講師：内沼 映二氏 (株)ミキサーズラボ 会長 / 日本音楽スタジオ協会 名誉会長

○(株)サウンド・シティ 「VTuber 音街ひびき と学ぶ 立体音響」

講師：加納 洋一郎氏 (株)サウンド・シティ イマーシブDiv 部長

○(一社)日本音楽スタジオ協会

「日本プロ音楽録音賞・イマーシブ部門優秀作品のマスター音源再生

～イマーシブサウンドによる音楽制作の魅力を体験～」

講師：高田 英男氏 (株)ミキサーズラボ

⑤一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）が主催し、11月13日（水）～15日（金）に幕張メッセに於いて開催された第60回2024国際放送機器展「Inter BEE 2024」の開催に協力した。

6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

（1）日本プロ音楽録音賞の実施

①「日本プロ音楽録音賞」は、平成5年に当協会が制定した「JAPRS録音賞」を出発点とし、音楽制作、録音に対する認識を高め、音楽産業の更なる質の向上、録音技術者の地位の確立などを目的として平成6年より実施されているもので、一般社団法人日本音楽スタジオ協会（JAPRS）、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会（JAREC）、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）及び一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）並びに一般社団法人MPNの5団体が主催し、経済産業省の後援、日本放送協会（NHK）、一般社団法人日本民間放送連盟（NAB）、株式会社ステレオサウンドの協賛及びサウンド&レコーディング・マガジン、CDジャーナル、ステレオサウンド、プロサウンド、レコード芸術、オーディオアクセサリー、アナログ、ステレオの贊助並びに株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ/ソニー・ミュージックスタジオ、株式会社ミキサー・ラボ/ワーナーミュージック・マスタリング、ビクターエンタテインメント株式会社/ビクタースタジオ、パナソニック株式会社、オタリテック株式会社、日本コロムビア株式会社、株式会社キング関口台スタジオ、東洋化成株式会社、株式会社JVCケンウッド・クリエイティブメディア等の協力、そして一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の共通目的基金の助成を受け「第30回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月6日（金）音の日に東京都千代田 KANDA SQUARE HALLに於いて、（一社）日本オーディオ協会が主催するイベント「音の日2024」の一環として授賞式を行った。また、今回は第30回の節目となることから、当賞設立時にご尽力いただいた4名のご紹介、そして特別功労賞2名、第30回記念顕彰ベストエンジニア賞1名の顕彰も併せて行った。そして、厳正な審査の結果、各部門1作品の最優秀賞作品、次世代エンジニアへの顕彰であるニュー・プロミネント賞2名、ベストパフォーマー賞が選定された。特別功労者、特別功労賞、ベストエンジニア賞、部門別の最優秀賞受賞作品は以下のとおり。

○特別功労者（4名）

中島 平太郎氏	（工学博士）
菅野 沖彦氏	（レコーディングエンジニア&オーディオ評論家）
富田 熟氏	（作曲家&シンセサイザー・プログラマー）
浅見 啓明氏	（元NHK制作技術局&社団法人日本音楽スタジオ協会会長）

○特別功労賞

内沼 映二氏	（株式会社ミキサー・ラボ 会長）
椎名 和夫氏	（一般社団法人MPN 会長）

○第30回記念顕彰 ベストエンジニア賞

塩澤 利安氏	（日本コロムビア株式会社）
--------	---------------

【最優秀賞】

◆Best Master Sound部門 「クラシック、ジャズ、フュージョン」

《作品》マーラー：交響曲第5番 より「マーラー：交響曲第5番より第2楽章」

アンドレア・バッティストーニ 指揮 東京フィルハーモニー交響楽団

発売元：日本コロムビア株式会社 96kHz/24bit 2ch

ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア株式会社

マスタリング・エンジニア：佐藤 洋 日本コロムビア株式会社

アシスタント・エンジニア：久志本 恵里 日本コロムビア株式会社

◆Best Master Sound部門 「ポップス、歌謡曲」

《作品》「配信シングル」より「Sweetest Tune」 Travis Japan

発売元：ユニバーサル ミュージック合同会社 44.1kHz/16bit 2ch

マスタリング・エンジニア：酒井 秀和 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

ミキシング・エンジニア：松橋 秀幸 株式会社バーディハウス

アシスタント・エンジニア：大島 丈明 株式会社プラネット・キングダム

◆Immersive部門

○プログラミング・サウンド

《作品》「天球の音楽 ミュージック・オブ・ザ・スフィア－イマーシブ・クラシック」より
「メタモルフォシス I ～2台のピアノのための～」

長谷川慶岳（作曲）、後藤友香理（ピアノ）

発売元：スチュディオ・エクレール 360 Reality Audio

ミキシング・エンジニア：鈴木 浩二 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

アシスタント・レコーディング・エンジニア

：房野 哲士 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

○アコースティック・サウンド

《作品》「スキマスイッチ「Anniversary EP」」より

「ボクノート～for 20th Anniversary with Orchestra～」スキマスイッチ

発売元：ユニバーサル ミュージック合同会社 360 Reality Audio

ミキシング・エンジニア：甲斐 俊郎 株式会社 ARLT

セカンド・エンジニア：米山 雄大 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

◆アナログディスク部門

《作品》「MIXER'S LAB SOUND SERIES Vol.4」より「小さな花」角田健一ビッグバンド

発売元：株式会社ミキサーズラボ 30cm 33 1/3回転

カッティング・エンジニア：北村 勝敏 株式会社ミキサーズラボ

ワーナーミュージック・マスタリング

ミキシング・エンジニア：内沼 映二 株式会社ミキサーズラボ

カッティング・スタジオ：株式会社ミキサーズラボ

ワーナーミュージック・マスタリング

◆放送部門 「2chステレオ」

《作品》「東寺音舞台」より「What's My Name?」 MIYAVI 他

毎日放送 HDTV stereo 2023年11月12日放送

ミキシングエンジニア：田中 聖二 株式会社毎日放送

収録エンジニア：石田 良馬 株式会社毎日放送

フロア・チーフ：東 光信 株式会社サウンドエースプロダクション

◆放送部門 「マルチchサラウンド」

《作品》「プレミアムシアター / 歌劇「ばらの騎士」」より

「R.シュトラウス 歌劇「ばらの騎士」より第2幕」

歌：八木寿子(オクタヴィアン)、石橋栄実(ゾフィー)

演奏：京都市交響楽団 指揮：阪哲朗

日本放送協会 HDTV 5.0ch 2024年6月10日放送

ミキシング・エンジニア：萩原 路子 日本放送協会

セカンド・エンジニア：植松 俊子 日本放送協会

アシスタント・エンジニア：桐原 麻美 日本放送協会

◆ベストパフォーマー賞

《作品》「BIGBAND SUPREME」より「シボネー」

アーティスト：角田健一ビッグバンド

発売元：株式会社ワーナーミュージック・ジャパン 96kHz/24bit 2ch

※Best Master Sound部門（クラシック、ジャズ、フュージョン）エントリー作品

◆ニュー・プロミネント賞

『ミキシング・エンジニア』：久志本 恵里 日本コロムビア株式会社

作品「わたしを束ねないで」より

「ロジャー・クイルター」「3つのシェイクスピアの歌」Op.6より第2曲：愛しい人よ

上村誠一（カウンターテナー）

発売元：日本コロムビア株式会社 96kHz/24bit 2ch

※Best Master Sound部門（クラシック、ジャズ、フュージョン）エントリー作品

『ミキシング・エンジニア』：田宮 空 株式会社ミキサーズラボ

作品「堕楽」より「GAMESET」 Cena

発売元：株式会社ラブレア・エンタテインメント 48kHz/24bit 2ch

※Best Master Sound部門（ポップス、歌謡曲）エントリー作品

7. 音楽録音事業に関する情報収集及び提供

（1）会報の発行

①会報誌「JAPRS」を6月に初夏号、1月に新春号として発行した。

初夏号内容：令和6年JAPRS新年会

第22回スタジオ見学会「Xylomania Studio」

マルチトラック録音時のデジタルリファレンスレベルの改定について

第30回プロ録音楽録音賞に向けて

会員動向

経済構造実態調査へのご協力のお願い

新春号内容：会長年頭挨拶

2024年JAPRS企業説明会報告

令和6年度通常総会・懇親会について

OTOTEN 2024 JAPRSセミナー 実施報告

第23回スタジオ見学会「山麓丸スタジオ」

JAPRSミッドサイズスピーカー試聴会

第23回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」実施報告

2024年JAPRSレコーディングセミナー～スタジオワーク編～

「AES+JAPRS+Dolby」共同勉強会実施報告

第24回スタジオ見学会「角川大映スタジオ」

第21回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」実施報告

第2回JAPRS交流会実施報告

「第34回JAPRSゴルフコンペ」レポート

Inter BEE 2024賛助会員社ブースツアーレポート

2024年JAPRS新人エンジニア育成研修会 実施報告

ユニバーサル ミュージック Dolby Atmos納品仕様説明会&Augusta Studio 試聴会

第30回日本プロ音楽録音賞の開催と授賞式レポート

日本プロ音楽録音賞 第30回記念式典

第30回日本プロ音楽録音賞 受賞エンジニア&作品紹介

第30回日本プロ音楽録音賞 審査委員講評

「音の日2024」

会員動向

経産省関連告知

(2) 技術資料集の発行

①4月20日（土）、2024年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判193頁）を発行した。

技術資料集内容：1. 電気の基礎知識

2. 規格表

3. 定番の音響機器

4. 音楽に関わる基礎知識

5. 録音の歴史

6. 音楽スタジオ関連年表

②6月20日（木）、2024年度版「Pro Tools技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判253頁）を発行した。

技術資料集内容：A. Pro Tools概要

B. オーディオレコーディング・編集

C. ミキシング

D. Pro Toolsシステム・シンク・MIDIなど

③3月20日（木）、録音に関わる協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・再改訂版2025」を発行した。

(3) インターネットの有効的な活用の推進

①情報公開、情報伝達の普遍的な手段となっているインターネットの利用については、会報・会員リスト・協会活動情報・インフォメーション等の情報を更新した。また資格認定制度に基づく技術認定試験の出願の際、個人受験者用にWeb申し込みフォームを開設し対応、また賛助会員社の販促活動サポートとして「会員社トピックス」をトップページに新設した。

URL <https://www.japrs.or.jp>

E-mail japrs@japrs.or.jp

②JAPRSホームページ上に情報公開を行った。

掲示内容：1. 定款 5. 収支計算書

2. 役員名簿 6. 貸借対照表

3. 社員名簿 7. 事業計画書

4. 事業報告書 8. 収支予算書

8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業等

(1) 会員の入会促進

①未加入音楽スタジオ及び機器メーカー等に協会資料を送付する等の活動を実施した。

令和6年度は、法人正会員 ユニバーサル ミュージック合同会社（7月1日付）、個人正会員 佐藤 尚氏（10月1日付）、戸田 清章氏（1月1日付）が入会した。

(2) 会員相互の交流活動の実施

①6月13日（木）、バトゥール東京「メイン会場」に於いて、通常総会に引き続き懇親会を開催し、会員及び招待者との親睦、情報交換を行った。参加者：90名

②10月17日（木）、茨城県牛久市の金乃台カントリークラブに於いて、会員及び関係者を対象とした第34回JAPRSゴルフコンペを開催した。参加者：31名

③会員間の親睦、情報交換を目的としたJAPRS会員交流会の開催を9月18日（水）に南国亭 渋谷駅前店にて開催した。参加者：75名

④1月23日（木）、バトール東京「メイン会場」に於いて、会員及び関連団体幹部を対象とした新年賀詞交歓会を開催した。参加者：102名

（3）主たる会議開催

I. 総会

① 令和6年通常総会

期 日：6月13日（木）

場 所：バトール東京 3F 「ホールB」会場とし、オンラインも併用して開催

議 案：1. 令和5年度収支決算書（案）について

2. 令和5年度収支予算書（案）について

3. 役員全員任期満了による新役員の選出について

II. 理事会

① 5月8日（水） 第32回理事会

オンライン会議システムにて開催

議 案：1. 令和6、7年度に向けた役員改選について

2. 日本音楽スタジオ協会 事務所移転に関する説明

3. 令和6年度通常総会の開催日程について

② 5月20日（月） 第33回理事会

オンライン会議システムにて開催

議 案：1. 令和5年度事業報告書（案）について

2. 令和5年度収支決算書（案）について

3. 令和6年度事業計画書（案）について

4. 令和6年度収支予算書（案）について

5. 令和6・7年度新役員構成（案）について

6. 令和6・7年度委員会構成（案）について

7. 令和6年度通常総会の開催について

8. その他

③ 6月13日（木） 第34回理事会

バトール東京 「ホールB」

議 案：1. 三役及び常任理事の選出について

2. 顧問及び相談役の推選について

3. 各委員会構成について

4. その他

・新役員ご提出書類の確認

④ 8月23日（木） 第35回理事会

オンライン会議システムにて開催

議 案：1. 新事務所移転先住所、移転日について

（4）事務局について

・令和6年9月17日（火）、当協会事務所を下記住所へ移転した。

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-10 ビルデンスナイキ302